

地理歴史(日本史) (2023)

- (注意事項)
- 1 問題文は12ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答は一部記述を含むマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次の文章を読み、設問に答えなさい。

1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の軍艦を率いて浦賀に来航し、フィルモア大統領の国書を幕府にわたした。幕府は国書を受領しつつも回答を翌年に先送りして、ひとまずペリーを退去させた。そして翌年ペリーがふたたび来航すると、今度は日米和親条約を締結した。

日米和親条約に基づいて、初代アメリカ総領事として来日したハリスは幕府にたいして通商条約の締結を強く求めた。老中の堀田正睦は条約調印の許可を朝廷に求めるが、当時朝廷では攘夷論が強かったこともあって、 天皇の勅許は得られなかった。そのため、幕府は無勅許のまま日米修好通商条約^①の調印を断行した。ついで ・ロシア・イギリス・フランスとも同様の条約を結んだ。これらは一般に安政の五カ国条約といわれる。

大政奉還後、新政府は近代国家の建設をめざして諸改革を推進した。欧米諸国の影響は政治や社会制度だけでなく、文学や芸術にまで及んでいった。^②

19世紀末から20世紀にかけて、東アジアでは大規模な戦争がつづいた。1894年に日清戦争が勃発して、日本が勝利をおさめると、清国の弱体ぶりが世界に知れわたることになった。列強が中国分割を進めるなか、1899年にはアメリカのジョン＝ヘイ国務長官が中国の門戸開放を宣言し、ヨーロッパ列強による中国分割を牽制した。他方でアメリカはハワイを併合し、さらにフィリピンを領有するなど極東への進出を開始した。

1904年に日露戦争^③が勃発すると、アメリカは日本に好意的中立を保った。そのため、日本は同盟国のイギリスだけでなくアメリカからも戦費を調達することができた。日露戦争の講和交渉もアメリカのセオドア＝ローズヴェルト大統領の斡旋によって、アメリカのポーツマスで開催された。この交渉において日本側は全権として 外相を、ロシア側はウイッテを派遣し、ポーツマス条約の調印へと至った。しかし、日露戦争後に日本が満州進出を本格化させると、満州市場に関心をもつアメリカは日本の南満州権益の独占に反対し、日米関係は悪化した。

第一次世界大戦勃発後、日本は中国の袁世凱政府にたいして、いわゆる二十一カ条の要求をおこなった。この要求は中国だけでなくアメリカの不信感を招くこととなった。しかし、日本の中国進出を批判していたアメリカもドイツにたいして参戦し、日本と同じ連合国の一員となった。そこで日米両国は1917年に特派大使石井菊次郎と 国務長官の間で公文を交換し、中国の領土保全・門戸開放と、地理的な近接性ゆえに日本は中国に特殊権益をもつことを認めた。

1919年6月ヴェルサイユ条約が調印された。この条約において国際連盟の創設が決定され、日本は常任理事国となった。提唱国であったアメリカは上院の反対によって、国際連盟に参加することができなかった。その後アメリカはワシントン会議を開催し、この会議において海軍^④

軍縮や太平洋および極東問題にかんする諸条約が結ばれた。

第一次世界大戦が国民を動員する総力戦であったため、国民の側からも民主主義的要求が高まった。日本でもいわゆる普通選挙法が成立し、満 歳以上の男子が衆議院の選挙権を獲得した。第一次世界大戦後には都市化と工業化の進展により、大都市では俸給生活者が増加し、都市の景観や市民生活もまた変わりつつあった。

1929年10月ニューヨークのウォール街での株価の大暴落をきっかけに世界恐慌がおこり、日本も深刻な不況におちいった。そうしたなか、関東軍は奉天郊外で柳条湖事件をおこし、軍事行動を開始した。こうした日本の軍事行動にたいして、アメリカは不承認宣言を発した。国際連盟もまた、リットン調査団を現地と日中両国に派遣した。

1937年7月7日北京郊外の盧溝橋で日中両軍の武力衝突が発生した。いったん現地で停戦協定の成立をみたものの、ほどなく日中両国は全面戦争に突入してしまう。日本軍は1937年末に国民政府の首都である を占領したが、国民政府は漢口、さらには重慶に退いて抗戦をつづけた。日中戦争が長期化すると、日本では、アメリカ・イギリス・フランスの対中国援助を断つとともに、石油などの戦略物資を確保するために東南アジアへ進出しようとする南進論が台頭した。この南進論はアメリカとの緊張を高めることとなった。

他方ヨーロッパでは、1939年9月ドイツがポーランド侵攻を開始した。イギリスとフランスがドイツに宣戦し、第二次世界大戦がはじまった。1940年9月日本はドイツおよびイタリアとの間に、アメリカを仮想敵国とする軍事同盟を結んだ。いわゆる日独伊三国同盟である。三国同盟はアメリカの強い反発を招くこととなり、日米関係は大いに悪化した。

日本はアメリカとの衝突を避けるために、対米交渉を開始した。しかし、交渉はまとまらず、日本はハワイの真珠湾への奇襲攻撃に踏み切った。太平洋戦争の幕開けである。日本の対米宣戦後、三国同盟によってドイツやイタリアもアメリカに宣戦した。こうして、第二次世界大戦は全世界に拡大していった。

第二次世界大戦はアメリカ・イギリス・ソ連を中心とする連合国の勝利におわった。日本は ^⑦1945年8月にポツダム宣言を受諾して敗戦を受け入れた。アメリカを中心とする連合国は日本を占領し、さまざまな改革を実施した。占領下の日本では、東京裁判がおこなわれ、太平洋戦争開始時に首相をつとめていた をはじめ7人が死刑となった。当初アメリカは日本の非軍事化・民主化を目的としていたが、冷戦の進展とともに、日本を安定した工業国として復興させ、東アジアにおける自由主義陣営の主要友好国とする方針を採用するようになった。

1951年9月にサンフランシスコで対日講和会議が開催され、サンフランシスコ平和条約が結ばれた。 ^⑧その一方で日本とアメリカは安全保障条約を締結し、米軍が日本に駐留をつづけることが認められた。

〔設 問〕

- (1) 空欄 a～g にあてはまる語・数字を解答用紙B面の所定欄に記入しなさい。
- (2) 下線部①～⑧にかんして、下記の間たいする答を1つずつ選び、解答用紙A面の所定欄にマークしなさい。
- ① この条約において定められた内容にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 江戸と大坂を開市する。
 - (イ) 開港場に居留地を設ける。
 - (ウ) アメリカに領事裁判権を認める。
 - (エ) 関税額はアメリカ政府が決定する。
 - (オ) 神奈川・長崎・新潟・兵庫を開港する。
- ② 明治時代の文学や芸術にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 黒田清輝が絵画「湖畔」を発表した。
 - (イ) 島崎藤村が小説『破戒』を刊行した。
 - (ウ) 高村光雲が彫刻「老猿」を発表した。
 - (エ) 尾崎紅葉が小説『五重塔』を刊行した。
 - (オ) 二葉亭四迷が小説『浮雲』を刊行した。
- ③ 日露戦争がはじまる前におきた出来事として、適切なものはどれか。
- (ア) 大逆事件がおきた。
 - (イ) 義和団事件がおきた。
 - (ウ) 伊藤博文が暗殺された。
 - (エ) 韓国統監府が設置された。
 - (オ) 日比谷焼打ち事件がおきた。
- ④ ワシントン会議にかんする次の記述のうち、適切なものはどれか。
- (ア) 中国とソ連も会議に参加した。
 - (イ) 海軍大臣の幣原喜重郎が全権をつとめた。
 - (ウ) 九カ国条約では、日英同盟の廃止が定められた。
 - (エ) 海軍軍縮条約では、締約国間で主力艦の保有比率が定められた。
 - (オ) 四カ国条約では、国家政策の手段としての戦争を放棄することが定められた。

- ⑤ 第一次世界大戦後の日本国内の出来事として、適切でないものはどれか。
- (ア) 関東大震災が発生した。
 - (イ) ラジオ放送が開始された。
 - (ウ) 路面電車の運転が開始された。
 - (エ) 谷崎潤一郎が小説『痴人の愛』を刊行した。
 - (オ) 雑誌『種蒔く人』が創刊され、プロレタリア文学がもりあがりを見せた。
- ⑥ このとき内閣総理大臣をつとめていた人物は、次のうち誰か。
- (ア) 犬養毅
 - (イ) 高橋是清
 - (ウ) 田中義一
 - (エ) 浜口雄幸
 - (オ) 若槻礼次郎
- ⑦ a～eはこの年におきた出来事である。古い順に並べ替えたとき、(ア)～(オ)のうち適切なものはどれか。
- a. ドイツが無条件降伏した。
 - b. ヤルタ会談がおこなわれた。
 - c. アメリカ軍が長崎に原子爆弾を投下した。
 - d. アメリカ軍が広島に原子爆弾を投下した。
 - e. ソ連が日本にたいして宣戦布告をおこなった。
- (ア) a→b→d→c→e
 - (イ) a→b→d→e→c
 - (ウ) b→a→d→c→e
 - (エ) b→a→d→e→c
 - (オ) e→b→a→d→c
- ⑧ 講和会議および講和条約にかんする次の記述のうち、適切なものはどれか。
- (ア) ソ連は講和会議に招かれなかった。
 - (イ) この条約により、日本と大韓民国が国交を樹立した。
 - (ウ) この条約により、日本の千島列島領有が認められた。
 - (エ) 中華人民共和国と中華民国は講和会議に招かれなかった。
 - (オ) この条約により、沖縄諸島の施政権は日本にあることが認められた。

II 次のAとBの文章を読み、文中の空欄(a)(b)～(m)(n)にはいる、もっとも適切な語句・数字を語群より選び、その番号を解答用紙A面の所定欄にマークしなさい。なお、選択肢はすべて2ケタの数字であり、空欄内の左側のアルファベットは10の位を、また右側のアルファベットは1の位をあらわすこととする。

A 日本列島において本格的な農耕がはじまったのは、かつては弥生時代のこととされていた。しかし現在は研究が進展し、福岡県の (a)(b) 遺跡において水田が発見されていることなどから、縄文時代晩期から稲作がはじまったとする説もある。ともあれ一般的には、水稲耕作を基礎とする弥生文化は、紀元前4世紀頃に西日本に成立し、やがて東日本にも広まったとされる。弥生時代後期には、新しい技術がとりいれられた。(c)(d) の使用により、灌漑施設が必要な耕地での乾田が拡大した。

律令国家は、戸籍に基づいて口分田を班給し、稲をおさめる税を課した。また、春に稲を貸し付け、秋の収穫時に高い利息を加えて徴収する制度も整備した。農業技術の進歩は見られたものの、依然としてその水準は低く、天候不順や虫害により水田が荒れることも多かった。政府は良質な口分田の不足をおぎなうため、農民に食料や道具を支給して良田をひらく計画をたてた。さらに (e)(f) 天皇の治世である743年には、開墾した田地の私有を永年にわたって保証した。

9世紀になり、調・庸の未進などによって国家収入が減少すると、政府は大宰府に (g)(h) を823年に設置するなどして財源の確保につとめたものの、10世紀になると班田収授が実施できないなど、律令制のゆきづまりは目に見えて明らかとなってきた。その後、あらたな土地支配である荘園制が発展していく。当初は免除されていなかった荘園にたいする租税は、やがて中央の貴族や有力寺社の権威を利用することで、太政官符や (i)(j) 符による免除が認められるようになった。

鎌倉時代には、武士が所領経営に力を入れ、農業技術が発達した。稲の裏作として麦が植えられ、肥料には草葉を発酵させた (k)(l) などが利用された。また、牛馬を利用した農耕も広がっていった。室町時代にはさらに土地の生産性が向上し、水車などによる灌漑や排水施設の整備がおこなわれ、水稲の品種改良も進んだ。年貢の支払いにおいても、しだいに銭納が普及していき、商業の発達もあいまって貨幣の流通がさかんになった。そのため、中国からあらたに流入した (m)(n) 通宝が利用されたが、需要の増大とともに粗悪な私鑄銭も流通するようになった。

B 織田信長の遺業を継いで全国を統一した豊臣秀吉は、統一した度量衡を用いて新しく獲得した領地の調査をおこなった。太閤検地とよばれるこの政策は、土地の面積単位を町・段・畝・ (a)(b) に統一し、村ごとに田畑・屋敷地の面積・等級を調査して、その石高を定め

た。

江戸時代の初期から、幕府や大名は大規模な治水や灌漑などの工事をおこない、農業生産力を高める政策をとった。江戸時代の農業は百姓の小経営によって担われたが、幕府はこのような農業経営をできるだけ安定させて年貢の徴収を確実にしようとした。農業技術は深耕用の備中鍬や脱穀用の (c)(d) , 選別用の唐箕などが村々に広く普及したほか、 (e)(f) が著した『農業全書』などの農業技術を教える書籍も広く読まれた。新田開発の進展もあって耕地面積も増加し、幕府や大名の年貢収入も増加した。ただし、天候不順や自然災害により凶作となり、多くの餓死者が出ることもあった。 (g)(h) 年間に浅間山の大噴火や冷害などによって生じた飢饉は、最も深刻なもののひとつである。

明治新政府は当初、旧幕府時代のまま受け継いだ年貢を主要な財源としていたが、旧藩ごとに税額が異なり、また、米の豊凶によって税額が安定しなかったため、財源の安定をめざして地租改正をおこなった。従来年貢負担者に地券を交付し納税者としたうえで、算定された地価を基準に、金納で地租を納めさせた。これにより政府財政の基礎はいったん固まったが、地価を算定するにあたっては旧来の年貢収入を減らさない方針がとられたため、農民は負担の軽減を求めて地租改正反対の一揆をおこし、1877年に地租は1000分の (i)(j) に引き下げられた。

1880年代には、同時期にとられた厳しい緊縮・デフレ政策により、米価が下落するなど深刻な不況となり、定額金納である地租を負担する農民のなかには土地を手放し小作農となる者もいた。1884年には困民党と称する農民が武装蜂起し軍隊の派遣がおこなわれる (k)(l) 事件がおこった。

初期議会期においては、地租の軽減・地価の修正は政府と政党の間の争点となったが、日清戦争後、政府と政党の関係が変化すると、 (m)(n) 党と提携した第二次山県有朋内閣のときに地租条例が改正され、地租増徴案が成立することとなる。

〔語 群〕

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 01 青木昆陽 | 02 板付 | 03 永樂 |
| 04 大藏省 | 05 大藏永常 | 06 加波山 |
| 07 刈敷 | 08 寛永 | 09 元慶官田 |
| 10 享保 | 11 公營田 | 12 慶長 |
| 13 間 | 14 乾元 | 15 元正 |
| 16 憲政 | 17 憲政本 | 18 元明 |
| 19 元祿 | 20 孝謙 | 21 楮 |
| 22 骨角器 | 23 晒 | 24 三内丸山 |
| 25 式部省 | 26 尺 | 27 自由 |
| 28 升 | 29 聖武 | 30 諸司田 |
| 31 進歩 | 32 角倉了以 | 33 青銅器 |
| 34 千石篋 | 35 尖頭器 | 36 千齒扱 |
| 37 大豆粕 | 38 高田 | 39 秩父 |
| 40 勅旨田 | 41 鉄器 | 42 天保 |
| 43 天明 | 44 登呂 | 45 中務省 |
| 46 菜畑 | 47 歩 | 48 福島 |
| 49 踏車 | 50 宮崎安貞 | 51 民部省 |
| 52 文武 | 53 吉野ヶ里 | 54 竜骨車 |
| 55 和同 | 56 15 | 57 25 |
| 58 35 | 59 45 | |

Ⅲ 次のA～Gの文章を読み、設問に答えなさい。

A 第三十九代、第二十五世、天智天皇^①は舒明の御子。御母皇極天皇也。壬戌年即位。近江国大津の宮にまします。即位四年八月に内臣鎌足を内大臣大織冠とす。又藤原朝臣の姓を給。昔の大勲を賞給ければ、朝奨ならびなし。先後封を給こと一万五千戸なり。病のあひだにも行幸してとぶらひ給けるとぞ。此天皇中興の祖にましますく の御祖なり。国忌は時にしたがひてあらたまれども、これはながくかはらぬことになりなき。

天下を治給こと十年。五十八歳おましましき。

B 第四十二代、文武天皇は草壁の太子第二の子、天武の嫡孫也。御母阿閉の皇女、天智御女也。……又藤原の内大臣鎌足の子、不比等の大政大臣執政の臣にて律令なむどをもえらびさだめられき。藤原の氏、此大臣よりいよいよさかりになれり。四人の子おはしき。是を四門といふ。一門は武智麿の大臣の流、南家と云。二門は参議中衛大将房前の流、北家^②といふ。いまの執政大臣およびざるべき藤原の人々みなこのすゑなるべし。三門は式部卿 の流、式家といふ。四門は左京大夫麿の流、京家といひしがはやくたえにけり。南家・式家も儒胤にていまに相続すといへども、ただ北家のみ繁昌す。房前の大将人にことなる陰徳こそおはしけめ。

C 第七十八代、二条院^③。諱は守仁、……戊寅の年即位、己卯に改元。年号を と云。

右衛門督藤原信頼と云人あり。上皇いみじく寵せさせ給て天下のことをさへまかせらるるまで成にければ、おごりの心きざして近衛大将をのぞみ申しを通憲法師いさめ申てやみぬ。其時源義朝朝臣が清盛朝臣におさへられて恨をふくめりけるをあひかたらひて叛逆を思はたてけり。保元の乱には、義朝が功たかく侍けれど、清盛は通憲法師が縁者になりてことのほかにめしつかはる。通憲法師・清盛等をうしなひて世をほしきままにせんとぞはからひける。清盛熊野にまうでけるひまをうかがひて、先上皇御坐の三条殿と云所をやきて大内にうつし申、主上をもかたはらにおしこめたてまつる。通憲法師のがれがたくやありけむ、みづからうせぬ。其子どもやがて国々へながしつかはす。通憲も才学あり、心もさかしかりけれど、おのれが非をしり、未萌の禍をふせぐまでの智分やかけたりけむ。信頼が非をばいさめ申けれど、わが子どもは顯職・顯官にのぼり、近衛の次将なむどにさへなし、参議已上にあがるもありき。かくてうせにしかば、これも天意にたがふ所ありと云ことは疑なし。清盛このことをきき、道よりのぼりぬ。信頼かたらひおきける近臣等の中に心がはりする人々ありて、主上・上皇をしのびていだしたてまつり、清盛が家にうつし申てけり。すなはち信頼・義朝等を追討せらる。程なくうちかちぬ。信頼はとらはれて首をきる。義朝は東国へ心ざ

してのがれしかど、尾張国にてうたれぬ。其首を梟せられにき。

D 諸役人役柄に應ぜざる小身の面々、前々より御役料定め置かれ下され候処、知行の高下之有る故、今迄定め置かれ候御役料にてハ、小身の者御奉公統兼申すべく候。之に依り、今度御吟味之有り、役柄により、其場所不相応ニ小身にて御役勤候者ハ、御役勤候内御

エ

仰せ付けられ、御役料増減之有り。別紙の通り相極候。此旨申し渡すべき旨仰せ出され候。……

三千石より内ハ

三千石の高ニ成し下さるべく候

大目付

町奉行

御勘定奉行

E 朕、祖宗二千五百有余年ノ鴻緒ヲ嗣キ、中古紐ヲ解クノ乾綱ヲ振張シ、大政ノ統一ヲ総攬シ、又夙ニ立憲ノ政体ヲ建テ、後世子孫繼クヘキノ業ヲ為サンコトヲ期ス。嚮ニ明治八年ニ元老院ヲ設ケ、十一年ニ府県会ヲ開カシム。此レ皆漸次基ヲ創メ、序ニ循テ歩ヲ進ムルノ道ニ由ルニ非サルハ莫シ。……将ニ明治二十三年ヲ期シ、議員ヲ召シ国会ヲ開キ、以テ朕カ初志ヲ成サントス。

F 富山県中新川郡西水橋町町民の大部分は出稼業者なるが、本年度は出稼先なる樺太は不漁にて帰路の路銀に差支ふる有様にて生活頗る窮迫し、加ふるに昨今の米価暴騰にて困窮愈其極に達し居れるが、三日午後七時漁師町一帯の女房連二百名は海岸に集合して三隊に分れ、一は浜方有志、一は町有志、一は浜地の米屋及び米所有者を襲ひ、所有米は他に売らざること及び此際義侠的に米の廉売を嘆願し、之を聞かざれば家を焼払ひ一家を鑿殺すべしと脅迫し事態頗る穏かならず……。

G 朕ハ爾等国民ト共ニ在リ、常ニ利害ヲ同ジウシ休戚ヲ分タント欲ス。朕ト爾等国民トノ間ノ紐帯ハ終始相互ノ信頼ト敬愛トニ依リテ結バレ、単ナル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ

オ

トシ、且日本国民ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。

〔設問〕

- (1) 次の a～g の間にたいする答を解答用紙 B 面の所定欄に記入しなさい。
- a 文章 A は、中世のある人物が記した歴史書の一部である。文中の には、奈良時代末の天皇の名がはいる。漢字 2 文字で答えよ。
- b 文章 B も A と同様、中世のある人物が記した歴史書の一部である。文中の にはいる人物名を漢字 2 文字で答えよ。
- c 文章 C も A と同様、中世のある人物が記した歴史書の一部である。文中の にはいる言葉を漢字 2 文字で答えよ。
- d 文章 D は、江戸幕府の人材登用にかんする制度について定めた法令の一部である。文中の にはいる言葉を漢字 2 文字で答えよ。
- e 文章 E が出されたのは明治何年か。算用数字で答えよ。
- f 文章 F はある事件を報じた新聞記事の一部である。この事件が報じられたときの内閣総理大臣は誰か。
- g 文章 G は、1946 年に発せられた詔書の一部である。文中の にはいるものを漢字 3 文字で答えよ。
- (2) 次の①～⑦の間にたいする答を 1 つずつ選び、解答用紙 B 面の所定欄にマークしなさい。
- ① 文章 A の下線部①に関連し、7 世紀後半におこった出来事にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 唐・新羅の侵攻に備えて、西日本に山城が築かれた。
- (イ) はじめての全国的な戸籍である庚午年籍が作成された。
- (ウ) 大海人皇子は飛鳥浄御原宮で即位し、天武天皇となった。
- (エ) 古い姓のあり方があらためられ、八色の姓が制定された。
- (オ) 大海人皇子は壬申の乱において主に九州地方の兵を集めて勝利した。
- ② 文章 B の下線部②の北家に属さない人物は誰か。
- (ア) 藤原緒嗣
- (イ) 藤原兼家
- (ウ) 藤原伊周
- (エ) 藤原忠平
- (オ) 藤原道隆

- ③ 文章Cの下線部③の二条院が天皇であった時代より以前におこった出来事として、適切なものはどれか。
- (ア) 平重衡が南都を焼き打ちにした。
 - (イ) 奥州藤原氏は泰衡の代で滅亡した。
 - (ウ) 平清盛が摂津の福原に都をうつした。
 - (エ) 養和の飢饉で畿内、西日本は大きな被害を受けた。
 - (オ) 崇徳上皇と後白河天皇が対立し、その結果戦乱がおきた。
- ④ 文章Dに関連し、この制度が定められたときの将軍の在職中におこなわれた政策の説明として、適切でないものはどれか。
- (ア) 関東農村の荒廃を防ぐため、旧里帰農令を出した。
 - (イ) 大坂にあった堂島米市場を公認し、米価を安定させようとした。
 - (ウ) 定免法を広く採用するとともに、税率を引き上げ、年貢の増徴をはかった。
 - (エ) 大名の参勤交代の負担を減らすかわりに、石高1万石について米100石をおさめさせる上米の制を設けた。
 - (オ) 増加する一方であった金銭の貸借にかんする争いを幕府に訴えさせず、当事者の間で解決させることを定めた、相对済し令を出した。
- ⑤ 文章Eに関連し、日本における議会制度の整備にかんする説明として、適切でないものはどれか。
- (ア) 大阪会議をへて、1875年に元老院が設置された。
 - (イ) 廃藩置県後の官制改革により、太政官に左院が設置された。
 - (ウ) 大日本帝国憲法の発布後、選挙により衆議院議員が誕生した。
 - (エ) 1878年の地方統治制度整備の結果、府会・県会の設置が全国的に認められた。
 - (オ) 地方の民情を反映させるため、1875年に府知事・県令を集めた議政官が設置された。
- ⑥ 文章Fに関連し、1910年代の出来事にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 原敬内閣の下で、小選挙区制が採用された。
 - (イ) 第一次護憲運動が広がるなかで、清浦奎吾内閣はわずか50日余りで総辞職した。
 - (ウ) 第二次西園寺公望内閣は、陸軍の二個師団増設要求を受けいれず、その後総辞職に追い込まれた。
 - (エ) 第二次大隈重信内閣の与党だった立憲同志会は、大隈内閣成立後の総選挙の結果、立憲政友会の議席を上回った。
 - (オ) 立憲政友会を与党として成立した第一次山本権兵衛内閣は、ジーメンス（シーメンス）事件の発覚後に総辞職した。

- ⑦ 文章Gに関連し、連合国による占領のもとにおこなわれたことにかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 独占禁止法が制定され、持株会社やカルテルが禁止された。
 - (イ) 労働組合法が制定され、日本労働組合総連合会が結成された。
 - (ウ) 自作農創設特別措置法が制定され、第二次農地改革が開始された。
 - (エ) 衆議院議員選挙法が改正され、女性参政権を認めた新選挙法が制定された。
 - (オ) 教育委員会法が制定され、公選により委員が選ばれる教育委員会が設置された。